

月	主な学校行事 (※校外行事)	PTA行事
4	第1学期始業式 入学式 身体計測 授業参観 交通安全教室 1年生を迎える会 地域訪問 6年全国学力・学習状況調査 避難訓練 (火災)	交通安全現地指導 PTA総会
5	5年たかねっ子学習田植え 3年かぼちゃ種まき 1年・高根こども園サツマイモ苗植え 5年校外学習 (千葉市少年自然の家)	郡市P・村P連総会 第1回奉仕作業 第1回常任委員会
6	千葉県教育庁東上総教育事務所計画訪問 プール清掃 いじめゼロ集会 避難訓練 (不審者) ※長生郡市小学校陸上競技大会 (茂原市立二宮小学校)	
7	第1学期終業式 夏季休業 保護者面談 サマースクール	
8	夏季休業	第2回奉仕作業 第2回常任委員会 各委員会
9	第2学期始業式 避難訓練 (地震津波対応・引き渡し訓練) 5年たかねっ子学習田稲刈り・脱穀 給食試食会 6年修学旅行 (富士・箱根・鎌倉方面) 3年かぼちゃ収穫 ※長生村少年の主張大会 (長生文化館)	村PTAバレーボール大会 (村体育館) 第3回常任委員会
10	体力向上月間 新体カテスト 1年高根こども園サツマイモ収穫 秋季大運動会	長生郡市P連バレーボール大会 (茂原市市民体育館) 第3回奉仕作業
11	教育月間 向寒マラソン開始 就学時健康診断・入学説明会 授業参観 たかねっ子学習田感謝祭 創立150周年記念音楽鑑賞会 創立150周年記念演劇鑑賞会 ※長生郡市小学校体操大会 (茂原市市民体育館) ※むらっこコンサート (長生文化館)	バザー準備会 高根小バザー 村PTAソフトボール大会 (尼ヶ台球場)
12	向寒マラソン納会 避難訓練 (火災) 創立150周年記念式典 保護者面談 第2学期終業式 冬季休業	第4回常任委員会 交通安全看板作成
1	冬季休業 第3学期始業式 校内書き初め会 校内書き初め展 避難訓練 (不審者) 新1年生学用品販売 校内ジャンピング大会	交通安全現地指導
2	学力向上月間 千葉県標準学力検査 授業参観 3年クラブ見学 児童会役員引継式 1年・こども園交流会	第5回常任委員会 学年PTA 県内1000か所ニ集会
3	6年生を送る会 卒業証書授与式 修了式 学年末休業	会計監査

	月	火	水	木	金
8:00			健康観察		
8:05			読書		
8:15			読書 (職員打ち合わせ)		
8:25			朝の会		
1校時	1	7	13	19	24
9:10					
9:20					
2校時	2	8	14	20	25
10:05			業 間		業 間
10:30					
3校時	3	9	15	21	26
10:15				休み時間 10:05~10:15	
11:00					
4校時	4	10	16	22	27
11:10					
11:55					
12:10					
12:45	給食	給食	給食	給食	
13:00					
12:45	休み	休み	休み	休み	
13:20					
12:55					
13:40			清掃		
5校時	5	11	17	23	28
13:45					
14:25					
14:40	帰りの会 13:45~14:00	帰りの会 14:25~14:40		帰りの会 13:45~14:00	帰りの会 14:25~14:40
6校時	6	12	18		29
14:00					
14:45					
15:25					
	5校時14:20下校 6校時15:00下校	5校時14:55 6校時15:40		5校時14:20下校 6校時15:00下校	5校時14:55 6校時15:40

8 運営の組織

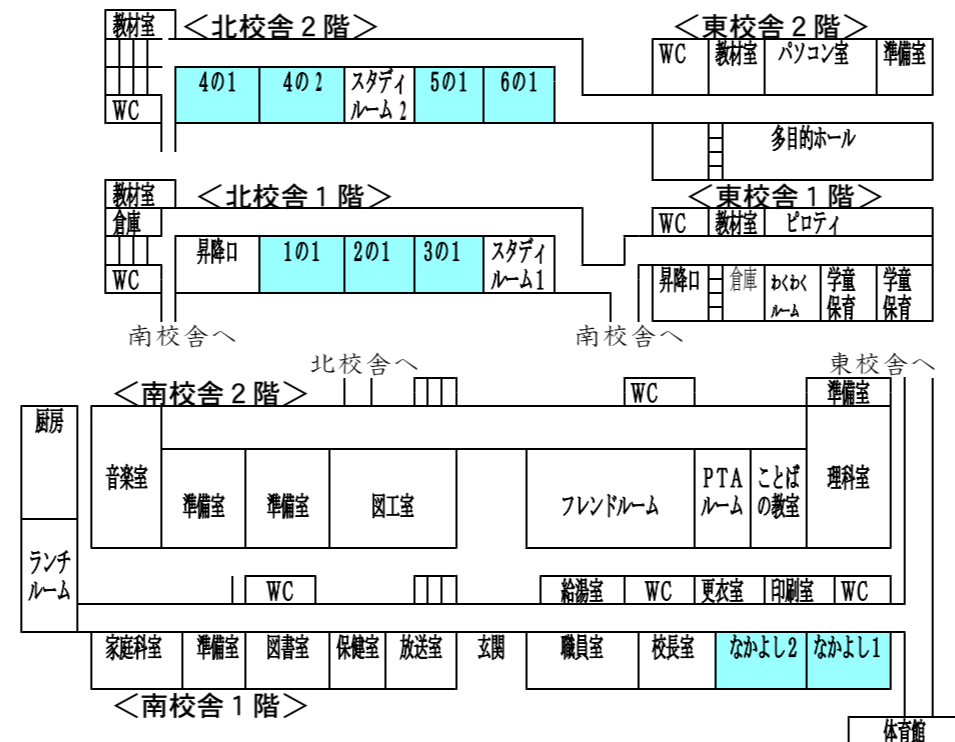
(1) 職員構成

1	校長	今井 義昭	学校経営	13	少人数	益子 尚子	算数・理科
2	教頭	岡田 弘道	経営補佐	14	養護教諭	矢代 彩夏	保健健康
3	教務	信太 英俊	教育課程	15	栄養教諭	伊藤 康恵	食育給食
4	1-1	高谷 順子	研究・進級	16	主査	金澤 寿和	庶務
5	2-1	鶴飼 恵	生活	17	初任者指導	村山 徹	初任者指導
6	3-1	武田 洋平	安全教育	18	ことばの教室	川村 幸介	言語指導
7	4-1	佐藤 亜佑奈	総合学習	19	学習指導支援員	野口 志成	学習指導支援
8	4-2	村杉 未羽	環境教育	20	特別支援教員	久我喜代美	学習生活指導支援
9	5-1	御須 龍一	福祉教育	21	特別支援教員	黒沼百合江	学習生活指導支援
10	6-1	河西 俊平	体育	22	特別支援教員	山内 澄子	学習生活指導支援
11	なかよし1	今田 育栄	特別支援教育	23	A.L.T	Griffin Tull-Gauger	外国語
12	なかよし2	安藤 祥子	特別支援教育	24	用務員	細矢富貴栄	学校環境整備

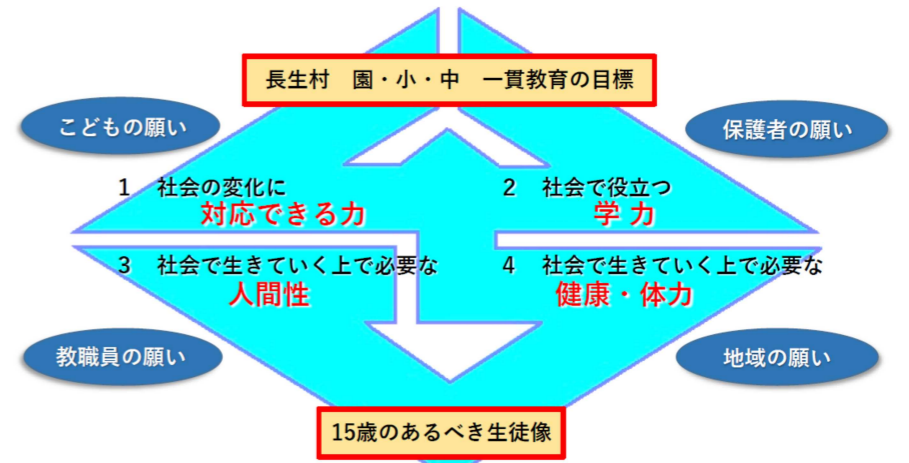
(2) PTA役員

会長	林 邦岳		
副会長	細矢 一宏	鶴澤 美奈	岡田 弘道
会計	田中 千歳	平野 夕希	信太 英俊
会計監査	渡邊 敬文	三橋 智和	木島 重久

9 校舎平面図



令和5年度 学校要覧



高根小学校 校歌

作詞 神原 克重
作曲 神原 克重
作詞 神原 克重
作曲 神原 克重

一 遠くかがやく空のした
そよぐみどりの 新しく
あふれるいのち はつらつと
のびゆくわれら すこやかに

二 砂丘かたむく 九十九里
波のとどろき 吹くあらし
ささえてしげる 防風林
根をはる松の たくましく

三 海のうちから 明けわたる
朝のひかりの さすところ
希望はみちを 力わく
われら長生 高根校

長生村立高根小学校



〒299-4345
千葉県長生郡長生村本郷1297
電話 0475-32-1103
FAX 0475-32-4643
Eメール takanesyo@vill.chosei.lg.jp

校章のいわれ 「白い雲に富士山」高根小学校のある本郷地区は、長生村の中では地形的にやや高いところにあり、富士山がよく見えたようである。これが、秀峰富士のように気高い人間に育ってほしいという願いを込めて校章の図柄となり、富士の下の白い雲は、富士の気高さをさらに強調する意味で描かれたとされている。制作者は不詳で、高根国民学校の時代から帽章として使用されていた。

1 学校の沿革

明治	5年	8月	学制発布
	6年	12月	高根小学校創立（本宮寺仮校舎）
	7年	1月	高根小学校開校
	18年	6月	公立高根小学校と改称
	19年	4月	尋常科（4年）と高等科（4年）2科設立
	20年	4月	高根尋常小学校と改称
	41年	3月	尋常科5・6年、高等科1・2年、7学級編成
昭和	16年	4月	高根国民学校と改称、初等科6年、高等科2年義務制
	22年	4月	高根村立高根小学校と改称（6・3制）
	28年	1月	3村合併により千葉県長生郡長生村立高根小学校と改称
	31年	6月	校章制定
	35年	7月	校歌制定
	37年	1月	給食室落成
		9月	鼓笛隊編成
	38年	12月	国旗掲揚塔PTAより寄贈
	41年	3月	特別教室新築落成
	43年	4月	特別教室落成
	48年	3月	高根小学校創立百周年記念式典挙行、北校舎完成
		7月	プール落成
	52年	7月	体育館倉庫・トイレ増築工事完了
	54年	3月	屋内運動場完成
	58年	3月	給食室・特別教室棟落成
	60年	11月	文部省指定勤労生産学習公開研究会開催
	61年	10月	第31回学研教育賞受賞
	62年	11月	千葉県教育功労者表彰受賞（団体の部）
平成	元年	3月	南校舎教室・職員室増築工事完成
	2年	8月	玄関前舗装完了
	8年	10月	給食室改修工事・南校舎改修工事完了
	9年	11月	千葉県教育委員会指定長生中学校区生徒指導公開研究会開催
	10年	3月	多目的ホール・コンピュータ室新築工事完了（東校舎）
	11年	9月	北校舎展望施設塗装工事完了
	13年	6月	放送設備改修工事完了
	12月		パソコン室機器更新、校内LAN工事完了
	17年	3月	北校舎改築工事完了
	19年	4月	プール塗装改修工事完了
	20年	8月	廊下カーペット改修工事完了
	21年	11月	千葉県学力向上プロジェクト事業研究協力校公開研究会開催
	22年	7月	体育館通路修理工事完了、音楽室床修理工事完了（8月）
	23年	3月	正門付近フェンス、東校舎教室黒板改修工事完了
	24年	11月	ジャングルジム設置完了
	25年	4月	学童農園推進事業指定校（～28年3月）
		8月	中庭舗装改修工事完了
	26年	6月	プールのトイレ水洗化完了
	27年	2月	正門前横断歩道設置完了
		8月	普通教室エアコン設置完了
	28年	2月	体育館耐震工事完了
	29年	3月	正門扉修理完了
	11月		千葉県交通安全優良団体表彰
令和	2年	1月	千葉県教育委員会指定「ちばっ子の学び変革」推進事業公開研究会開催
	3年	2月	GIGAスクールタブレット端末導入
		4月	千葉県教育委員会指定「外国語教育小・中・高連携モデル事業」（令和3～4年度）
	11月		千葉県教育功労者表彰受賞（団体の部）
令和	4年	4月	学校運営協議会設置
		9月	体育館改修工事完了



2 地域・児童の様子

学区は、東は一松地区、南は八積地区、北は白子町、西は茂原市に隣接しており、学区内を県道茂原長生線が東西に通っている。都市部への通勤も便利のため、近年小規模な住宅地の開発が進み、現在では保護者の約半数が、他地域からの転入者でしめられるようになった。また、両総用水や内谷川も通り、兼業農家として農業に従事している家庭もある。保護者・地域の人々の気質は概ね温厚・誠実である。PTA活動にも熱心で、協力的である。また、学校への関心や期待も高い。児童は明るく素直で、落ち着いて学習や係活動、清掃活動に取り組んでいる。近年、習い事や塾に通っている児童が増えている。

3 学校経営

高根小学校 グランドデザイン

第3期千葉県教育振興基本計画

基本目標1 ちばの教育の力で、志を持ち、未来を切り拓く、ちばの子供を育てる

基本目標2 ちばの教育の力で、「自信」と「安心」を育む学校をつくる

基本目標3 ちばの教育の力で、家庭と地域の絆を深め、全ての人々が活躍できる環境を整える

基本目標4 ちばの教育の力で、世界を舞台に活躍する人材を育成し、「楽しい」「喜び」に満ちた豊かな社会を創る

喜びあふれる学校生活の創造

学校教育目標

夢をもって主体的に学ぶ、心豊かでたくましい児童の育成

長生村園小中一貫教育の目標

「15歳のあるべき生徒像」

- 1 「社会の変化に対応できる力」
- 2 「社会で役立つ学力」
- 3 「社会で生きていく上で必要な人間性」
- 4 「社会で生きていく上で必要な健康と体力」

笑顔いっぱい 元気いっぱい
あいさついっぱい 高根小

めざす児童の姿

たかね すけあい、仲良くする子
んがえ、進んで学ぶ子
ばり強く、チャレンジする子

4つの経営の重点

学校の特徴

- 園小中一貫教育を軸に、園小中の滑らかな接続と更なる連携を図り、中学校卒業を見据えた系統的な教育活動を進める。
- 福祉教育やJRC活動を通し思いやりの心を持ち、人のために「気づき、考え、進んで行動する」子どもを育てる。
- 本年度創立150周年を迎え、本校のよき伝統を継承するとともに、地域に目を向け、故郷に誇りと愛着をもつ子どもを育てる。

学力向上
(考え、進んで学ぶ子)

豊かな心
(助け合い、仲良くする子)

健康・たくましさ
(粘り強く、チャレンジする子)

信頼される学校
(魅力あふれる学校)

- 教員の特性を生かした専科指導や少人数指導を行い、子どもの習熟度に合った効果的な学習を展開する。
- 地域人材や外部講師を積極的に活用し、様々な大人と関わりながら探究的な学習を実現する。
- ICT機器を各教科で適切に活用し、授業効率を高め共同的な学習を実現する。
- 学校図書館の活性化と朝の全校読書タイムを活用し、本に親しむ子どもを育てる。
- 家庭と連携し家庭学習の習慣化をサポートし、「自ら学ぶ子」を育てる。

- 特別な支援を必要とする子どもに対する理解を深め、一人一人の個性や人格を尊重する意識を育成する。
- あいさつ、返事、掃除、時間を守る等の規範意識の育成により、よりよい生活習慣を身に付けさせる。（凡事徹底）
- 全校児童で取り組む清掃活動を充実させ、協力や思いやりの心を養い、働くことの意義や奉仕活動への意識を涵養していく。
- 道徳教育、人権教育の充実により、他人の痛みが分かり、互いを認め合う心を育て、いじめを許さない学校を実現する。

- 体育の時間で全力を出す時間、汗をかく運動時間を確保し、体力の向上につなげていく。
- 体力テストの結果を踏まえ、運動習慣の形成や、体力・運動能力の向上に努める。
- 個や集団で競い合う活動の中で喜びや悔しさを感じる経験を重ね、結果に関わらずに相手を尊重し次のめあてにつなげていける、芯の強い子どもを育てる。
- 養護教諭、栄養教諭を中心に授業で保健や食に関する指導を行い、また家庭への情報発信を通し、家庭と連携して子どもの健康への意識を高めていく。

- 子どもにとって「毎日通いたくなる学校づくり」
- ・分かる授業、多様な活動の場を通して、楽しい学校生活を送る。
- ・学級内に自分の居場所があり、安心して自分を表現できる。
- 保護者や地域から「この学校でよかったと信頼される学校づくり」
- ・教員が子どもの様子をよくとらえ必要な指導や支援を適切に行う。
- ・学校運営協議会を基に、保護者や地域のニーズを学校運営に生かす。
- 教職員にとって「やりがいを持って働ける学校づくり」
- ・互いに信頼し合い協働性を発揮し、目標達成のために力をつなぐ。

4 児童数及び家庭数

	男子	女子	合計	学年(男・女)		家庭数
なかよし1組	1	0	1	4	0	1
なかよし2組	3	0	3			3
1年1組	10	13	23	10	13	12
2年1組	15	13	28	15	13	14
3年1組	17	13	30	17	13	20
4年1組	11	9	20			16
4年2組	11	9	20	22	18	16
5年1組	14	16	30	14	16	29
6年1組	14	23	37	14	23	36
合計	96	96	192	96	96	147

5 研究の概要

- 1 研究主題
「楽しみながら主体的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成」
～外国語科・外国語活動の授業実践を通して～
- 2 研究目標
児童一人一人が主体的にコミュニケーションを図ろうとする指導のあり方をさぐる。
- 3 研究仮説
(1) 単元ごとに付けたい力を明確にし、児童の興味・関心が持てるコミュニケーションの場（目的、場面、状況）を設定すれば、進んで活動に取り組むことができるだろう。
(2) 単元を通してインプット・アウトプットの場を工夫すれば、単語やフレーズなどの音声に慣れ、進んで話したり聞き取ろうとしたりすることができるだろう。
- 4 研究の内容と方法
(1) 外国語科・外国語活動における主体的にコミュニケーションを図るための指導方法をさぐる。
(2) 児童の実態把握
(3) 付けたい力を設定し、授業を行う。
(4) 外国語の日常化